

表1 16S rRNA およびシトクローム *b* 領域の PCR 増幅に用いたプライマーセット

領域	プライマー配列	アニーリング温度()	増幅サイズ (bp)
16S rRNA	16SAR-L 5'-CGCCTGTTTATCAAAAACAT-3'	53	620
	16SBR-H 5'-CCGGTCTGAACTCAGATCACGT-3'		
シトクローム <i>b</i>	L14317Glu 5'-CAGGATTTTAACCAGACTAATGGCTTGAA-3'	53	390
	H15149 5'-CCCTCAGAATGATATTTGTCCTCA-3'		

表2 トラフグおよびマフグ間の各種交雑種の塩基配列同一性から見た母系種の同定

個体名	母系種 × 父系種	16S rRNA 領域		シトクローム <i>b</i> 領域		母系種同定結果
		トラフグ	マフグ	トラフグ	マフグ	
トラマ	トラフグ × マフグ	572/572	570/572	435/436	423/436	トラフグ
マトラ	マフグ × トラフグ	562/564	563/564	424/436	436/436	マフグ
トラフグ	トラフグ × トラフグ	572/572	570/572	435/436	423/436	トラフグ
マフグ	マフグ × マフグ	562/564	563/564	424/436	436/436	マフグ
トラフグ	不明	571/572	570/572	435/436	423/436	トラフグ
マフグ	不明	562/564	563/564	424/436	436/436	マフグ
交雑 1	不明	571/572	570/572	435/436	423/436	トラフグ
交雑 2	不明	562/564	563/564	424/436	436/436	マフグ
交雑 3	不明	562/564	563/564	424/436	436/436	マフグ
交雑 4	不明	572/572	570/572	435/436	423/436	トラフグ

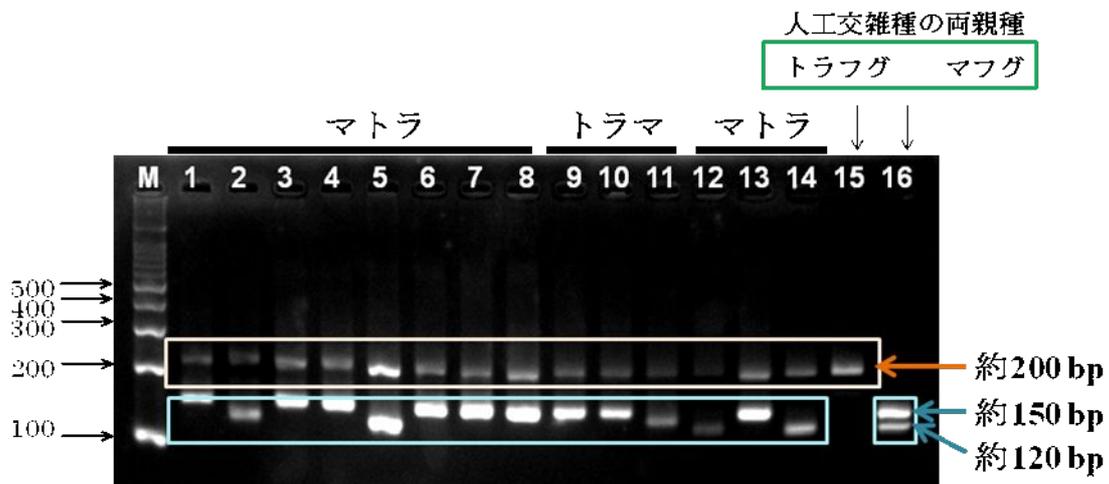


図1 MS (GAAAG) マーカーの反復パターン

表3 トラフグおよびマフグ間の人工交雑種における GAAAG 反復配列の回数

魚種	個体名	GAAAG 反復
トラマ	1	8,9/23
	2	6/23
	3	7/21,23
マトラ	1	9/21,25
	2	5/23
	3	9/23
	4	9/23
	5	5/23
	6	9/20
	7	9/20
	8	9/20
	9	5/23
	10	9/23
	11	7/23
トラフグ	1	23
マフグ	1	5,9

表4 自然交雑種における MS 解析結果

個体名	母系種×父系種	GAAAG 反復回数	MS 解析による 種同定	母系種	父系種
交雑 1	トラフグ/不明	8/19	マフグ/トラフグ	トラフグ	マフグ
交雑 2	マフグ/不明	7,9/21	マフグ/トラフグ	マフグ	トラフグ
交雑 3	マフグ/不明	9/21	マフグ/トラフグ	マフグ	トラフグ
交雑 4	トラフグ/不明	8/22	マフグ/トラフグ	トラフグ	マフグ

なお、母系種は表2の結果に基づき判定されている。